

特集

クラブの危機を未然に防ごう！

ピンチをチャンスに変えるため クラブの現状を徹底的に確認・分析

八郎潟町総合スポーツクラブ

八郎潟町はトップアスリートを多く輩出しているスポーツが盛んな地域です。その土地柄、競技志向の強いスポーツ団体が多かったため、総合型地域スポーツクラブを設立したものの、早くも2年目には厳しい運営状況に追い込まれました。そこで、「総合型地域スポーツクラブの自立・自律に向けたチェックリスト」を活用するなど、危機を回避するための取り組み、具体的な活動をご紹介します。

🔑 キーポイント

- ◎チェックリストを活用
- ◎運営体制の強化
- ◎クラブ色を意識した活動
- ◎会員確保と財源確保の検討

1 | クラブ概要

八郎潟町は人口6,242人（平成27年9月現在）の秋田県内でも小さな自治体です。町体育協会を基盤組織として、平成19年3月より、地域住民に「より身近にスポーツを親しめる機会を」とのことから総合型地域スポーツクラブ（以下、クラブ）創設に着手し、平成21年度に設立しました。

2 | スポーツが盛んな町が故に危機に直面

八郎潟町は数多くのトップアスリート（オリンピック選手4人、プロ野球選手、インターハイ、国体優勝者、甲子園球児、全国中学校大会優勝選手など）を輩出するスポーツの盛んな町であり、特に競技スポーツは群を抜いて活躍がめざましい地域です。

そういった土地柄を背景に「地域の乳幼児から高齢者、障がいの有無に関わらず、すべての地域住民に対し、スポーツを通じて、健康、福祉、子育て支援ならびに地域交流の普及と振興、育成に関する事業を

行い、地域住民の生活の向上に寄与する」ことをクラブの理念として設立しました。そして、地域住民に理解と浸透を図り、クラブの定着をめざしてフォーラムの開催、町民のスポーツニーズ調査、教室、イベントの開催などを行いました。

しかし、なかなかクラブの浸透は容易ではありませんでした。クラブが浸透しなかった原因としては、町内のそれぞれのスポーツ団体の活動が活発なうえ、競技志向が強く、別途会費を支払ってまで総合型クラブへ加入する必要があるのかという思いを持つ町民が多かったことが考えられます。そして、設立して2年目(平成25年)ごろから活動が停滞してしまいました。そこで、立て直しを図るため、平成26年度に日本体育協会が発行した「総合型地域スポーツクラブの自立・自律に向けたチェックリスト」を基に、緊急対応クラブとして総合チェックを行いました。

3 | クラブの現状をチェックするなど、積極的な対策を実施

●チェックリストでクラブの現状を確認・分析

「総合型地域スポーツクラブの自立・自律に向けたチェックリスト」を使用し、以下の項目についてクラブの現状の確認・分析を行いました。

- ・地域住民の理解・把握(新規会員・参加者の確保)
- ・アクセスのしやすさの把握、見学・体験のしやすさの把握
- ・会員や参加者の理解・把握(会員・参加者の定着や潜在的なニーズの把握、十分な説明ができているかを確認)
- ・他団体との連携体制の確立(他団体に提供できる自分たちのクラブ資源の把握)
- ・コミュニケーション戦略の立案(地域における広告効果の検証、新規会員・参加者に対する広告効果の検証など)

●運営体制の強化(事務局、役員構成など)

事務局が教育委員会にあり、担当職員の異動に伴う活動停滞などがあったことから、クラブ独自の事務局体制をめざしました。その一環として、クラブの理事がアシスタントマネージャー養成講習会へ参加したり、クラブ担当部局でもある教育委員会との連携を綿密に行いました。スポーツ推進委員の会議や町体育協会の総会・理事会等においては、クラブについて説明する場を設けるなどしてクラブへの理解を深めてもらう取り組みを行いました。



運営委員会の様子

●クラブ色を意識した活動(各種教室、イベント、広報活動など)の実施

基盤組織色(体育協会)が強すぎ、クラブ色の見えない部分などにより、地域住民に浸透しないことが活動停滞、マンネリ化などの要因でもありました。そのことから、クラブ色を意識した教室・イベント・広報活動を実施したほか、あえて設立間もない先進クラブを視察したほか、クラブ設立時の原点に戻り研修も行いました。また、秋田県総合型クラブ連絡協議会主催の「県央地区クラブ交流会」を八郎潟町で本クラブが主管で計画するなど、積極的な活動を行っています。

そのほか、ニュースポーツを取り入れたスポーツフェスティバルやウォーキングを開催し、競技志向の強いスポーツ団体へクラブに対する理解を求める活動も行っています。

●会員確保と財源確保の検討

競技志向の強さと総合型クラブの理念の認知度不足等により、クラブ設立当初の会員が退会するという現象が起きました。クラブ自立に向けては会員増加による財源確保は必要不可欠要素と考えていることから、各スポーツ団体が一堂に会し、さまざまなスポーツに触れる機会を作るスポーツフェスティバルを開催し、地域住民へのクラブの啓発に努めています。



スポーツフェスティバルを開催

4 | 競技力の強さを生涯スポーツに展開！

今後は、単年度、中期（3年、5年）、長期（8年、10年）でマスタープランの具体的な計画をしていく予定です。

特に「具体的な対策」については、行っただけで満足せずに地域住民の目線を大切に町広報誌にスポーツクラブ会員募集記事を掲載し、クラブをPRするなどの啓発、啓蒙に努めていきます。

これまでのピンチをチャンスにする力が、この地域にはあります。競技力の強さを生涯スポーツにつなげられるよう、「動くか」「動かないか」を常に分析し、何から始めるかが進歩への道でもあります。そして、総合型クラブが町のスポーツ振興計画へ位置付けられていることを念頭に置き、活動を行っていく方針です。

5 | 地域とともに前進あるのみ

まだクラブ運営のすべてに予断を許さない状況ですが、前に進む姿勢がクラブから見えます。地域のためにも、地域とともに「八郎潟町総合スポーツクラブ」は生涯スポーツ社会の実現に向けて、中核的組織として、地域に作るのではなく、地域で作るクラブ作りを続けていきます。
(事務局長／鳴海一元)

クラブプロフィール

- 設立年月日：平成22年3月26日
- 所在地：秋田県南秋田郡八郎潟町
- 運営：会員数64名（平成27年9月現在）、予算規模54万円（平成27年度）
- 特徴：町体育協会を基盤組織に総合型クラブを設立、地域住民のニーズに応じた独自事業の開催、また、自治体、体育協会等との連携事業を行い、生涯スポーツ社会の実現に向けて中核的な組織として活動を続けている。

連絡先：〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80
TEL：018-875-5810 FAX：018-875-5950
事務局長 鳴海 一元